

研究協力校： 飛騨市立古川中学校 岐阜県立吉城高等学校

これまでの取組と生徒の実態

中学校

- ・ 付けたい力、評価規準、評価方法等を明確にした単元指導計画を作成し、それに応じた言語活動を仕組むように取り組んだ。
- ・ 基礎・基本の定着を目指して前向きに取り組む生徒は多いが、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする姿に弱さが見られる。
- ・ 学習状況調査によると、特に「書く力」が低く、課題となっている。

高等学校

- ・ 教科書の音読の徹底と、暗唱による構文把握練習で、生徒の学ぶ意欲はかなり見られるようになったが、まだまだ英語を「聞く力」が不足している。
- ・ 「聞く力」が「書く力」につながっていない。

<プロジェクトを通して付けたい力、大切にしていくこと、明らかにしたいこと>  
 一人一人が積極的にコミュニケーション活動に取り組むことができる指導の工夫改善  
 ~「聞くこと」と「書くこと」の言語活動に関連をもたせた指導方法の工夫改善~

平成18年度の具体的取組内容

中学校

<研究テーマ>  
 かかわり合い、相互理解を深めるコミュニケーション活動の在り方  
 ~個に応じた指導・評価の工夫~

指導計画の工夫改善

- ・ 特に「聞くこと」と「書くこと」について個々の学習状況を把握するとともに、目指す姿を明確にした単元指導計画を作成・改善する。

言語活動・授業形態の工夫改善

- ・ 「聞くこと」と「書くこと」を関連付けた言語活動を意図的に仕組むとともに、少人数指導等のより有効的な活用を実践検証する。

学習環境の工夫改善

- ・ Classroom Englishを継続的、段階的に指導するとともに、ALTを効果的に利用して、生徒が進んでコミュニケーション活動ができる環境を設定する。

高等学校

<研究テーマ>  
 相手の意向を把握し、表現できる能力の育成

指導計画の工夫改善

- ・ リスニングの徹底練習と解法の分析。
- ・ 語レベルから文レベルまで聞き取り・書き取りができるようにする。

言語活動・授業形態の工夫改善

- ・ Oral Communication (1年)・ライティング(2年)の授業は分割(1クラス20人)で行う。

- ・ 「聞く」「書き取る」練習の工夫をする。

学習環境の工夫改善

- ・ ALTと連携しながら、リスニング指導の工夫改善を図る。
- ・ CD・テープ等のより効果的な活用と音声言語活動の充実を図る。

